



やさしさ。パワーアップ大作戦

桜舞館小学校 四年 森 和花

わたしは、竹里館のお年よりと交流するために、そう合的な学習の時間にお年よりの体と心について学びました。わたしの家にもおじいちゃんとおばあちゃんがいるので、たくさん学ぼうと楽しみにしていました。

まず学習の中で知ったのが「にんちしよう」についてです。わたしは、その言葉を聞いたことはあつたけれど、どのようなものかは、知りませんでした。「にんちしよう」とは、さまざまな原いんでのうのはたらきが悪くなる病気なのだそうです。にんちしようの方は不安でイライラした気持ちになることが多いことを知りました。だからこそ周りの人の声かけがとても大事なのだそうです。わたしは、にんちしようの方の気持ちをもっと知って、やさしく教えたいと思いました。

にこしが曲がり、小さなだんさもとてもこわかったです。こんなに大変だとは思いませんでした。でも、いつしよにとなりを歩いてくれた友だちが、「だんさがあるから気をつけてね。」とやさしく声をかけてくれると安心しました。

いよいよ交流会本番。わたしは、ちは、ゆつくりと大きな声で話したり、文字の大きさや動きを工夫したクイズをしたりしました。おじいちゃん、おばあちゃんが手をたたくてよるこんでくれ、わたしの心もうれしい気持ちでいっぱいになりました。

この学習を通して、相手のことを知って行動することの大切さがわかりました。これからはお年よりや友だちのためにできることを考え、やさしさを広げていきたいです。



※この作文は、森さんが三年生のときに書いたものです。

人権相談(無料)

「ひとりりで悩んでいませんか」

【人権何でも相談所】

- 日時 5月18日(水)午後1時～4時
- 場所 あたご苑
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦・親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みことなど

【女性相談所】

- 日時 5月12日(木)午前10時～午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談
- ※女性の人権擁護委員が相談に応じます

【常設相談】

- 時間 午前8時30分～午後5時15分
- 場所 福岡法務局柳川支局 (土、日、祝日を除く)
- 相談担当 者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640

【特設人権相談所】

- 6月1日は、「人権擁護委員の日」です。身近な相談パートナーである人権擁護委員が、さまざまな相談に応じます。
- 日時 6月1日(水)午前10時～午後3時
- 場所 山川市民センター
- 相談内容 家庭内の悩みごと、隣近所とのトラブル、いじめ、差別など
- 福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640

有限会社みやま環境保全センター

梅津 大輔さん

バイオマスセンターの運転管理や、液肥の散布・運搬などを請け負う有限会社みやま環境保全センターで、液肥責任者を務める梅津大輔さん。事業の立ち上げ当初から勤務して4年目になる。友人たちに負けないように梅津さんは、地元で貢献できる仕事をしたいたいと思ひ、現在の職場に転職した。「地元の人々が消防団などで活躍している姿を見て、自分も負けないくらい地元で貢献したいと思うようになりました。今は、申請があつた市内の農家さんの田んぼや畑に液肥を散布するための段取りを組んだり、散布の現場監督をしています。液肥で、みやま市のお米や野菜が

もっと美味しくなると嬉しいですよ」

3年目の成果

「田んぼへの散布は、市内全域で100畝もの面積に5月下旬から6月下旬までの1か月間で終えなければいけません。作業効率を上げるために、毎日問題点を書き出して、ひとつひとつ改善していきました。また、散布時の失敗をなくすために、申請があつた田んぼを1か所ずつ訪ねて確認作業をしています」改善と努力を重ねた結果、事業が始まって3年目になる昨年は、苦情やトラブルを大幅に減らすことができました。

「液肥といえば梅津くん」

コミュニケーションの第一歩は笑顔だと話す梅津さん。「農家さんと打ち合わせをするときは笑顔第一を心掛けています。自分に親しんでもらうことで、液肥にも親しんでほしい。『液肥といえば梅津くん』と言ってもらえるように頑張ります」

液肥を通してみやま市に貢献するため、これからはひとつひとつ丁寧に向き合っていきます。



うめつ だいすけ
趣味は野球観戦、アニメ鑑賞
【座右の銘】
微に入り細を穿つ
【みやまにひとこと】
お米や野菜が美味しいところが好きです。高菜が好きで、よく高菜チャーハンを作ります。

みやま文芸

真清水句会

- 剣のごと蒼するどき花苜蓿
- アマリリス垣根の中へ隠れをり
- 夏の蝶われにまつわり親思う
- 昼過ぎてゆつくり開く朴の花
- 顔よりも大きく口開け燕ツ子
- 青空を目指して揺るる振花
- 清水句会
- 吹き晴の空を飛ばされる落花
- 地を染めて降り敷く苑や飛花落花
- 句心を花に遊ばせ苑巡る
- 池の面の風の織りなす落花かな
- 青空を流れてゆきし花吹雪
- 幼子も喜々と遊びし花の苑
- 宮地 末子
- 森田 蓉子
- 梅野 博山
- 紙田 幻草
- 榊島美代子
- 平井 和子
- 綿貫 惇
- 綿貫 淑子
- 古賀 麗子
- 岩屋 清美
- 壇 篤子
- 猿渡 洋子

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。

